

市長メッセージ

新年あけましておめでとございませう。

市民の皆さまには、令和2年の新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。本年が、皆さまにとって、幸多く輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、本年7月1日に、本市が市制施行50周年を迎えます。昭和45年の「町」から「市」への移行により、市として、市民の皆さまとともに諸課題の解決に主体的かつ積極的に取り組んできたところです。この50年を振り返りますと、昨年6月に放水路通水から40周年を迎えた野洲川大改修、教育や福祉・医療の充実、ホタルの舞う豊かな自然環境、計画的な都市基盤整備、高い自治会加入率などにより、今の守山市があると考えております。今日までご尽力頂いた先人また地域の皆さまに、改めて心よりお礼を申し上げます。

昨年12月には、50周年のイベント「灯りをつなぐ、守山2019」として、中洲小学校のメタセコイアの木に約5万枚のメッセージカードを飾り付け、世界一の美しいクリスマスツリーづくりに挑戦し、見事にギネス世界記録を達成することができました。市民や企業の皆さま、また実行委員会の皆さまのご協力により、守山市が一つとなって取り組んで頂いたことを大変誇りに思っております。

本年は50周年を記念して、夏ごろに「総おどり」、11月に「記念式典」ならびに「吹奏楽フェスティバル」を開催する予定です。

また、東京オリンピック・パラリンピックに

関連して、5月28日に聖火ランナーが本市を走り、8月にはトルコ共和国の視覚障害者柔道およびゴールボールの選手団が本市で事前合宿を行い、市民の皆さまや子どもたちと交流頂く予定です。

50周年を市民の皆さまとともに喜び合うとともに、50年の歴史を振り返り、50年先のまちづくりを市民の皆さまとともに考える一年にしたいと考えております。

市政としては、本年も引き続き、環境センターの更新を最重要課題として取り組んでまいります。昨年5月に本体工事の起工式を行い、その後も工事が順調に進捗しており、昨年11月末にすべての基礎杭工事が完了しました。今後はプラント工事などに着手してまいります。令和3年10月の操業開始に向け、ごみの分別方法の見直しおよび市民の皆さまへの周知徹底も含めて、計画的に取り組んでまいります。

また、入札不調により遅れておりました温水プールを含む付帯施設は、昨年12月に無事落札され、令和3年4月のオープンに向け運営面の検討も含めて、市民の皆さまが集い、交流し、皆さまに愛される施設となるよう鋭意努力し、取り組みを進めてまいります。

待機児童対策としては、昨年4月に開園された「ふるたか虹のはし保育園」(定員204人)に続き、本年4月には市民ホール北側に新たに「(仮称)滋賀短期大学附属すみれ保育園」(定員120人)が開園される予定です。幼児教育・保育の無償化の施行状況を見ながら、引き続きハ-

ド・ソフト両面から対策を進めてまいります。

同じく本年4月には、済生会守山市民病院の新館が供用開始され、リハビリ専門医、リハビリセラピストを配置した県内随一のリハビリテーションセンターが開設されます。湖南圏域で不足する回復期医療を担い、地域医療の充実と市民の皆さまの安心に貢献してまいります。

本年も、市民の皆さまのご協力・ご支援を頂きながら、市政の課題解決に取り組む、真に住みやすさを実感頂けるよう取り組んでまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

来る1月11日(土)には、県選抜無形民俗文化財である「火まつり」が勝部神社と住吉神社で執り行われます。守山が誇る伝統行事を継承している地域の皆さまに心から敬意を表するところです。迫力ある大松明の奉火をご覧ください。

1月12日(日)には、消防団や各自治会の自衛消防隊の皆さまとともに、今年一年の安全・安心を誓う「消防出初式」を開催いたします。日ごろから地域の安全・安心のために活躍頂いております皆さまに改めて感謝申し上げます。

1月13日(月・祝)には、成人式典と祝賀駅伝を開催いたします。守山、そして日本の将来を担う若人の成人を市民の皆さまとともに祝福したいと存じます。

守山市長
宮本和宏